

東村山市民新聞



第204号
2023年7月15日



東村山市議会の 2023年選挙の結果は

草の根2議席復活の快挙！ 矢野ほづみ議員を受け継いで

本年4月23日に執行された東村山市長および市議会議員選挙の結果、2019年から1議席となっていた草の根市民クラブの議席が2議席に復活した。

故矢野ほづみ議員を受け継ぎ、当選した新人議員は、子安しゅん議員(40)。朝木直子議員と共に、政教分離を訴え、創価学会をはじめとするカルト宗教と政治の癒着を許さない立場で闘い、堂々7位での当選。草の根市民クラブは5位当選の朝木直子議員と合わせて5478票の得票となり、立憲民主党の4328票より1150票も多い得票数となった。

昨年7月に、旧統教会の被害者が安倍元総理を銃殺するという衝撃的な事件により、統一教会と自民党との癒着が大問題となったにも関わらず、今回の市議選でも、素知らぬ顔をして統一教会の支援を受けていた自民党市議が当選する中、自民



西東京市の長井秀和議員も応援に

全国で12人落選、特に練馬区においては、11人の候補者中4人落選という、「練馬ショック」と言われる惨事。集票マシン創価学会の崩壊を窺わせる結果となった。

朝木明代議員殺害事件から28年 なんと、担当の創価信者検事が朝木直子議員の近所に！

渡部市長は5期目で慢心

改選後の市議会の構成は、自民6(-2)、公明6、共産4(-1)、草の根2(+1)、立憲民主2、無所属5、となり、議長は、自民党と公明党が同数議席でにらみ合いながらも、何とか自民党小町議員が選出された。

4期でやめる約束だった渡部市長は、公明党創価学会、特に公明党谷村孝彦都議の支持を武器に、今回

も出馬。自民党は、渡部市長に推薦を出さずに自主投票という動きもあったが、最終的には推薦。市内の自民党支持者からも公明党ベッタリの渡部市長には「もついい加減にウンザリだ」という怒りの声も。

しかし、当の渡部市長は、公明党とがっちりタッグを組んで5期目に突入し、自信を持ったのか、「次(6期目)も出る」という強気発言をしていると言われている。

6月議会では、野党議員の発言中に不規則発言やヤジが多く、手が付けられない驕った態度だった。

草の根市議として、市政の数々の不正を糾す活動の一方、創価学会被害者の救済活動をし、創価学会による人権侵害問題に取り組んでいた故朝木明代議員が市内のビルから落とされ殺害される事件が発生したのは1995年9月1日。

された後、事件の約7か月後に、この事件の管轄である東京地検八王子支部の担当のN検事も、担当を指示した支部長のY検事も、共に創価学会の幹部信者であったという驚愕の事実が判明。創価学会と対立していた故朝木明代議員の転落死事件を、創価学会・幹部信者の検事たちが担当したのだから、東京地検の捜査のあり方について、マスコミ等で大きな疑問の声が上がった。

そして、事件から27年半が経過した本年3月、この創価信者のN検事が、なんと、事件から1年後の1996年8月に、東村山市、しかも朝木直子議員と同じ諏訪町内に土地を購入し家を建てて甲府市から移転していたことが判明した。

遺族である朝木直子議員のすぐ近所に！

さらに、東京地検が「自殺の疑いが濃い」と発表し捜査終了とした2年後、故朝木明代市議の遺体には「上腕内側部の皮下出血」があったことが、朝木直子市議らが入手した司法解剖鑑定書によって判明した。この「上腕

内側部の皮下出血」は専門家により「他人と争った跡」であるとの鑑定がされている。この司法解剖鑑定書は事件当時には作成されず、事件から3年も経ってからの日付で作成されており、事件当時には捜査資料となっていなかったことは明らかだ。

「他人と争った跡」という、殺害事件である重要な証拠が記載されている司法解剖鑑定書を作成させなかったのは、担当であった、創価信者のN検事であるとし考えられず、朝木直子議員をはじめとする遺族関係者は強い疑惑を持ち続けていた。

お知らせ

政治と宗教を考える
シンポジウム～安倍元総理銃撃事件から1年
カルト宗教と政治の癒着根絶を～

●シンポジスト

乙骨正生氏 (ジャーナリスト)

平野貞夫氏 (元参議院議員)

●日時

8月5日(土) 13時30分～

●場所

東村山市民センター
第1・2・3会議室※13時から草の根・朝木、子安両議員
の議会報告をする予定です。お問い合わせは本紙まで。
(上記欄外、電話・メール)インサイド
レポート

「憩いの家」訴訟は住民側勝訴！

本年5月12日に東京地裁で、東村山市に約16万円を大成株に請求するよう命じる判決が出されました。

委託料全額2億円の請求金額に対して16万円の認定という、金額としては少額でしたが、住民訴訟における勝訴は、訴訟要件を認め、行政の対応が不適切であったことを認めた判決文の内容と併せれば大きな成果でした。

本紙の第203号で「憩いの家」問題の詳細を報じていますが、この問題は、2018年の予算委員会での私の追及で発覚した、東村山市の高齢者福祉施設「憩いの家」の委託料や入札、契約不履行等、数々の問題について、私や故矢野議員など市議5人で、市長や事業者の責任を問う裁判を提訴してから、約4年3か月後に下された判決。

裁判の中で、この施設が、消防署の立ち入り検査で「防火管理者」が設置されていない違法運営であることを、市長あての文書で指摘されていたことから、私たち原告は、市長はこのような重大な事実を知らないはずはないと主張しましたが、市長はこれを「知らなかった」と言い張り、職員も「消防署からの文書について、市長に報告するのを忘れてしまった」と証言して責任をかぶり、結果、市長は責任を免れることになった。

渡部市長と市職員の関係が、透けて見える結果となりました。

朝木直子

朝木直子
VOICE

市民の皆様に応援をいただいた選出から、初めての議会を経験しました。議会というのは、市民の附託を受けた議員が、市政に対して議論を尽くし、民主的に運営されなければならない機関ですが、東村山市議会は大違いです。

議会では質問するには事細かく質問内容を記載した「発言通告書」を委員会を含めてすべての会議で事前に提出しないと、一切の発言が許されず、また、その発言通告書に記載した順番通りに質問をしなければならず、誤って質問を飛ばしてしまうと、とばした質問はもうできない、という、フラット

「裸の王様」

今回の市長選は、元立憲民主党市議の藤田まさみ候補との一騎打ちとなりました。藤田候補が立候補を表明したのは、選挙直前の3月中旬。

一方、今期で5期目となる渡部尚市長は、市長の立場を利用して、16年間、市発行の印刷物や庁内のポスターなど、あらゆる「公」の印刷物に、他市では考えられないほど顔を押し込み、「公報の私物化ではないか」との意見も寄せられるほど。結果は、藤田候補の25279票に対して、渡部市長は33102票、前回より2000票減らし、約57%の得票にとどまりました。

また、自分の方針に反対する野党議員には、あいさつすらしない器の小ささは、関係者の間では有

「鉄道高架化事業が
大幅遅延に！」

現在工事が進められ、2024年度末に完了予定の鉄道高架事業が、ここにきて、完了は6年延長、予算はなんと725億円から935億円へ、210億円もの大増額。嫌な雰囲気になってきました。



朝木直子プロフィール

▼1967年東村山市諏訪町生まれ。化成小・二中・都立武蔵高・慶應大卒
▼母・明代議員の殺害事件後、遺志を継ぎ、弱者の生活を守り、税の使途、行政腐敗を監視するために闘うことを決意。謀殺事件究明に28年
▼憲法学習会広渡塾一期生・東村山市民新聞代表・現職市議会議員(7期目)／社会福祉法人理事／政治と宗教を考える会主催／地元FM局スタッフ／「憩いの家」委託費問題を追及し予算を撤回させる

Twitterでも
情報発信中！朝木直子
HP子安じゅん
VOICE

市民の皆様に応援をいただいた選出から、初めての議会を経験しました。議会というのは、市民の附託を受けた議員が、市政に対して議論を尽くし、民主的に運営されなければならない機関ですが、東村山市議会は大違いです。

議会では質問するには事細かく質問内容を記載した「発言通告書」を委員会を含めてすべての会議で事前に提出しないと、一切の発言が許されず、また、その発言通告書に記載した順番通りに質問をしなければならず、誤って質問を飛ばしてしまうと、とばした質問はもうできない、という、フラット

「初めての
定例会を終えて」

市民の皆様に応援をいただいた選出から、初めての議会を経験しました。議会というのは、市民の附託を受けた議員が、市政に対して議論を尽くし、民主的に運営されなければならない機関ですが、東村山市議会は大違いです。

く校則のようなルールまであるのです。このように厳しい制限をかけて、なるべく議員に質問させないようにしているのは全国でも唯一、東村山市議会のみです。そして、東村山の議会基本条例では、「二元代表制」を謳っていますが、自公などの与党議員と市長が一体となって野党と対立している状況は新人の私が見てもわかりますし、選挙の際に、自公の議員の推薦人に渡部市長が名を連ねていることでも明らかです。

議会基本条例などで市民向けに宣伝していること、実態があまりにもかけ離れていることにも、議会の中に入ってみて、驚きを通り越してあきれてしまいました。これからしっかりと勉強し、朝木議員と共に、市民のための議会となるよう、闘ってまいります。

子安じゅんプロフィール

▼1983年大阪府豊能郡能勢町生まれ。能勢町立歌垣小・能勢東中・府立池田高・創形美術学校卒
▼学校職員・会社勤務・新聞編集員
▼政治と宗教問題への関心から、矢野ほづみ議員の遺志を継ぎ、政教分離実現のために闘うことを決意。東村山市民新聞編集員・地元FM局スタッフ・高齢者団体役員
▼2023年4月の選挙で初当選・現在一期目の市議会議員

Twitterでも
情報発信中！子安じゅん
HP報酬返上合計
(2023年6月末時点)

《朝木》601万5910円、《子安》2万4250円

議員報酬のお手盛り値上げに反対し、任期中のお手盛り値上げ分および市職員より多いボーナス減額提案分は受け取り拒否します。